

令和 8 年度

総合型選抜Ⅱ期

生活環境学科

課題作文

試験開始までに下記の注意事項をよく読んでください。

試験時の注意事項

- ① 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ② 受験票に記載された学科と解答する学科に相違がないか、確認すること。
- ③ 開始の合図の後、解答用紙に「氏名」・「受験番号」を記入すること。受験番号は算用数字で記入すること。
- ④ 試験時間は 60 分です。
- ⑤ 解答用紙は横書きで記入すること。
- ⑥ 句読点は 1 字として数えること。
- ⑦ 下書きは、問題用紙の余白または裏面を使用すること。
- ⑧ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- ⑨ 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

1. 2015年の国連サミットにおいて、私たちが直面する貧困や不平等、気候変動、環境劣化などのグローバルな諸課題の解決を目指して、「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択された。図1に示す「持続可能な開発目標（SDGs）」17の目標のうち、目標13を除く2つを選んで、知っている内容について解答用紙にそれぞれ200字程度で論じなさい。

但し、には、選択したSDGsの目標番号を記入しなさい。



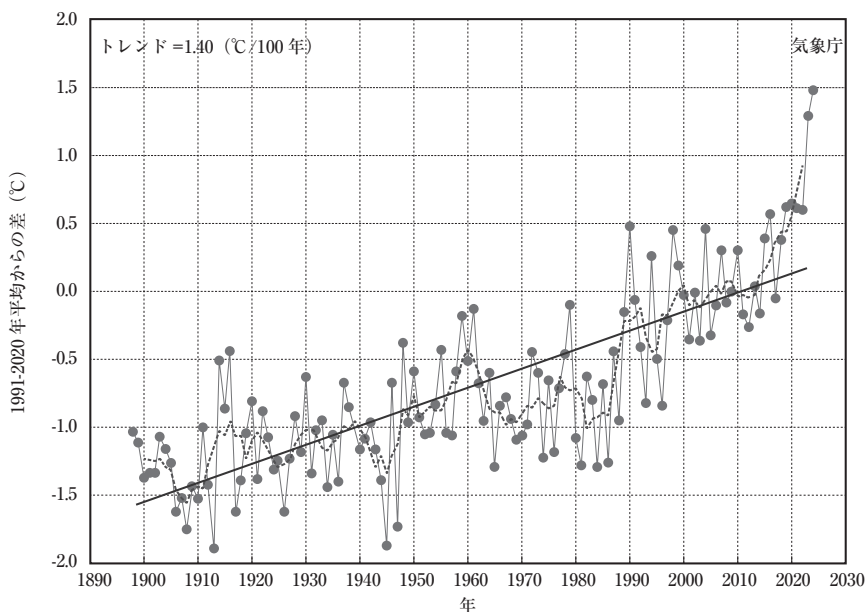
図1. 17の持続可能な開発目標（SDGs）

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 貧困をなくそう | 10. 不平等をなくそう |
| 2. 飢餓をゼロに | 11. 住み続けられるまちづくりを |
| 3. 健康と福祉を促進しよう | 12. つくる責任、つかう責任 |
| 4. 質の高い教育を提供しよう | 13. 気候変動に具体的な対策を |
| 5. ジェンダー平等を実現しよう | 14. 海の豊かさを守ろう |
| 6. 安全な水とトイレを提供しよう | 15. 陸の豊かさを守ろう |
| 7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに | 16. 平和と公正をすべての人に |
| 8. 働きがいも経済成長も | 17. パートナーシップで目標を達成しよう |
| 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう | |

出典：https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/31737/

2. 2030年を達成期限とする「持続可能な開発目標（SDGs）」について、2024年の日本の達成率は低く、特に深刻な課題の一つに目標13「気候変動に具体的な対策を」がある。

そこで、この課題に対して私たち一人ひとりが日常生活の中でできる取り組みとして、どのような工夫や意識が必要だと考えるか。図2に示す「日本の年平均気温偏差」の実態をふまえてあなたの考えを解答用紙に400字程度で具体的に論じなさい。



細線：各年の平均気温の基準値からの偏差、破線：偏差の5年移動平均値、直線：長期変化傾向。
基準値は1991～2020年の30年平均値。

図2. 日本の年平均気温偏差（気象庁）

出典：https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/an_jpn.html（一部改変）

〈グラフの解説〉

2024年の日本の平均気温の基準値（1991～2020年の平均値）からの偏差は+1.48℃で、1898年の統計開始以降、最も高い値となった。また、長期的には100年あたり1.40℃の割合で上昇している。